



家族お揃いで木村家星華ちゃん七五三のお参り(11月13日撮影)

慧 光

金光寺寺報
第186号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
0982
83-2338

今月のことば

世のもろびとよ みなともに このみさとしを 信ずべし

「正信偈」最後の二句「道俗時衆共同心 唯可信斯高僧説」〔道俗時衆ともに同心に ただこの高僧の説を信ずべしと。〕の意識になります。

「このみさとしを信ずべし」とは、これまで「正信偈」で述べられた『仏説無量寿経』の法義、インド(龍樹・天親)、中国(曇鸞・道綽・善導)、日本(源信・源空)の七人の高僧方の教法におしながいしましょう、という意味です。ここでは釈尊が出世された本意はひとえに阿彌陀如来の本願眞実を説かんがためであり、この世のすべての人々にたいし、高僧方の導きによって『仏説無量寿経』に説かれる本願を信じ念仏申す身となり、出家(道)も在家(俗)も、時の人(時衆)みなともに(共同心)、浄土に往生させていただきましよう、と勧められ、百二十句の偈文を結ばれるのであります。

阿彌陀如来は「安心して帰せよ、わが世界に至れよ」と一人ひとりの苦惱の人生に喚びかけられています。そして私が称える念仏には、親鸞聖人をはじめ三国の祖師方、さらに浄土に往生された幾多の念仏者の願いがこもっていることが知られます。

この「正信偈」は自信教人信の書であるといわれます。本願のまことは「親鸞一人がため」(自信)と聖人によって受けとめられ、さらに「十方衆生みなもれず往生すべし」(教人信)とすべての人々に開かれた救いでありました。親鸞聖人はみずから信じ、たよりとされたこの「みさとし」を、すべての人びとに「どうか信じてください、お念仏申してください」とよびかけられているのです。

(本願寺出版社刊「大乘」誌より転載)

仏事お休みのお知らせ

下記の日は緊急を除き、仏事は行いません。ご協力をお願いします。

12月
15日(木) 終日
16日(金) 終日
22日(木) 終日

2017(平成29)年

1月
20日(金) 終日
2月
7日(火) 終日
8日(水) 午後
4月
3日(月)~5日(水)

11月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2016年11月7日寂 満83歳
山都町 木村 榮 様
2016年11月30日寂 満86歳
祇園町 西村 茂 様

ホームページ開いています。
URL <http://konkhoji.jp/>
12月8日現在 アクセス数 78,354人

やらかしてしまいました。寺報先月号当山報恩講開催案内の中、ご講師の肩書を「兩徳寺副住職」と記載したのですが、正しくは「兩徳寺住職」です。訂正し舟川先生にはお詫び申し上げます。きちんと確認すればよかったです。昨年電話した時に舟川先生のことを、ご母堂さまが「若は」とおっしゃられていたのを「副住職」だと思い込んでいました。先生からお手紙をいただき、顔から火がふくような恥ずかしさを覚えたことですが、暖かい日々が続いたのです。当山の報恩講が近づくとつれ、だんだん、寒さが訪れてまいりました。「御正忌寒(ごしようきがん)」と昔から言うのですが、まさにその通りの気候です。今は毎日テレビの天気予報を見ては、「晴れるかな?気温は高いかな?」とやきもきする日々です。十月から当山報恩講に向けてお参りし、当日が一人でも多くの方のご縁をと思つて生じています。自分の力ではどうすることもできないので後はまことに天まかせです。(住職 松井卓郎)

仏教用語豆辞典

道 楽

「おやしギヤル」「おじんギヤル」をご存じですか。ゴルフ、カラオケ、温泉、パチンコ、競馬、屋台酒など、とにかく、今まではおやしたちの

ものと思われていた趣味を、自分の趣味として楽しむ女の子のことだそう。趣味の世界も、時代とともに変わってきました。昔は「道楽」といいました。しかし、こちらは、道楽者とか道楽息子のように放蕩(ほうとう)的な意味合いがあり、品行のよくないニユアンスがあります。仏教では、道楽とは「道」を解して自ら楽しむこと、で、仏道修行によって得た悟りの楽しみを意味し、法悦の境界をいう言葉なので。

經典にも、「今已に道楽を得たり」(阿育王經)とあります。道は仏道だけではありませんから、道楽という語も、広く用いられるようになったのでしょ。うが、それにしても、ずいぶんかけ離れたものになったものですね。さて、ギヤルたちは趣味の世界を広げていますよ。おやしたちはどうしましょうかね。(本願寺出版社発行 辻本敬順著 仏教用語豆辞典一〇〇PART-から)

住職ひとりごと

俱会一処の縁 廻心

十二月四日荒谷地区の恩講が終わり、二百九十六軒ご門徒宅の秋参り（在家報恩講）と恩講（地区報恩講）のお参りが終わりました。まだ、数軒秋参りのお参りが残っておりますが、当山の御正忌報恩講の準備が佳境を迎えております。何とか、時間を作りお参りに伺いたいと思います。

ところで、延岡市で在家報恩講のお参りを終え、お茶をいただいたながらお仏壇の横を見ると亡くなられたお子さまの絵の横に写真が一枚ありました。次の文字が書かれた写真。

飲まずとも水をあげたい
食べずとも美味を供えたい
見えずとも花で飾りたい
答えずとも語りかけたい
納骨堂のある霊園に墓石屋さんが刻まれた石碑の文字との

こと。この石碑を見て心動かされ、写真を撮り、お仏壇の横に置かれたとのことでした。今年も一月から本日まで当山の門信徒十七名の方々がお亡くなりになりました。皆さん別れの悲しみの中、還相の菩薩となられた故人のお導きをいただき、仏前で手を合わせてお参りされていることでしょうか。語りかけてくることとはないけれども仏壇に向かい「行つてきます」「ただ今」などと声をかけておられるのかもかもしれません。正に「答えずとも語りかけたい」ですね。

また、私は常々「お仏壇のお荘厳に水は必要ありませんが、故人が好きだった、どうしてもお供えしたいとお心でしたらお供えください」と申し上げております。正に「飲まずとも水をあげたい」

です。この石碑を見て心動かされ、写真を撮り、お仏壇の横に置かれたとのことでした。

今年も一月から本日まで当山の門信徒十七名の方々がお亡くなりになりました。

皆さん別れの悲しみの中、還相の菩薩となられた故人のお導きをいただき、仏前で手を合せてお参りされていることでしょうか。

語りかけてくることとはないけれども仏壇に向かい「行つてきます」「ただ今」などと声をかけておられるのかもかもしれません。正に「答えずとも語りかけたい」ですね。

「俱会一処」をかなえるためにはどうあればよいのでしょうか。
『歎異抄』「第十六条」には次のようにあります。
一向専修のひとにおいては、廻心といふこと、ただひとたびあるべし。その廻心は、日ごろ本願他力の真宗をし

らざるひと、弥陀の智慧をたまはりて、日ごろのこころにては往生かなふべからずとおもひて、もとのこころをひきかへて、本願をたのみまらするをこそ、廻心とは申し候へ。
（『浄土真宗聖典』注釈版 八四八頁）

本願他力真宗を知らなかつた人が阿弥陀さまの智慧をいただいて、心をひるがえして阿弥陀さまの本願を信じてこそ、「廻心」と親鸞聖人は述べておられます。

「俱会一処」がかなうのは阿弥陀さまのお浄土。お浄土に救われるためには「本願他力を知らなかつた人が心をひるがえして本願を信じてこそ」なのです。
「廻心」のこころを分かりやすくお示しくくださった親鸞聖人のお命日を縁として、親鸞聖人三十三回忌からずっとおつとまりになる報恩講。当山の報恩講は今年十五、十六日です。多数のご参詣をお待ち申し上げます。

法語の世界

〈原文〉
前々住上人（蓮如）、東山を御出候ひて、いづかたに御座候ふとも、人存ぜず候ひしに、この善従あなたこなた尋ねまうされければ、ある所にて御目にかかられ候ふ。一段御迷惑の体にて候ひつるあひだ、前々住上人にもさだめて善従かなしまれますべきと思し召され候へば、善従御目にかかられ、あらありがたや、はや仏法はひらけまうすべきよと申され候ふ。つひにこの詞符号候ふ。善従は不思議の人なりと、蓮如上人仰せられ候ひよし、上人（実如）仰せられ候ひき。
（蓮如上人御一代記聞書 二百）

〈現代語訳〉
「東山の大本願寺が比叡山の法師たちによって打ち壊されたとき、蓮如上人は避難されて、どこにおいでになるのかだれも知らなかったのだが、善従があちらこちらを捜してある所で上人にお会いすることができた。そのとき、上人はたいそうなご困りの様子であったので、このありさまを見ると、善従もきつと悲しむことであろう。とお思いになったのだが、善従は上人にお目にかかるや、ああ、ありがたい。すぐにも仏法は栄えることでしょうか。と聞いた。そしてついにこの言葉通りになったのである。善従は不思議な人と蓮如上人も仰せになっていた」と、実如上人も仰せになりました。

二〇一六（平成二十八）年 金光寺報恩講のお知らせ

日時	内容
十二月十五日	午前十時～ 日中法要（上下参り） 午後七時～ 九区・十三区・十四区地区） 速夜法要（お蕃）
十二月十六日	午前十時～ 日中法要（中央参り） （十区・十一区・十二区地区）

講師 北豊教区 京仲組 両徳寺住職
浄土真宗本願寺派布教使 舟川 智也 師

その他 お参りの際は、門徒式章、念珠と聖典（お経本）をご持参ください。

報恩講期間中の日中法要（午前十時から）の法要にお仕事等でお参りできない方は、十二月十五日午後七時からの速夜法要にお参りください。

報恩講は、親鸞聖人のご命日を縁として、浄土真宗の門信徒が一年に一度手次ぎ寺にそろって参詣し、阿弥陀さまのみ教えに出遇わさせていたたく、**浄土真宗では一番重要な法要・法座です。**是非、ご勝縁をお結びください。